IBIDEN KENSO CO., LTD.

メラミン不燃化粧板 リテクト

# 施工説明書

## タイル下地用

※ボード系下地への施工は別途同梱の「リテクト施工説明書一般下地用」をご参照ください。

◎ 施工前にこの施工説明書をよく読み、正しく施工してください。
◎ 同梱の取扱説明書は必ずお施主様にお渡しください。
◎ 施工される前に品番及び輸送時の破損・傷の確認をお願い致します。その後の責任は負いかねますので、ご注意ください。
◎ リテクトは建築基準法・火災予防条例などの法令・法規に従って施工してください。
◎ リテクトは環境の変化により伸び縮みがあります。必ず注意事項に従って施工してください。
◎ リテクトは浴室用途や水を大量に使用する施設の壁面には使用できません。
◎ リテクトは保護フィルム、品番ラベルの貼付け面が表面です。
◎ 湿気を帯びた下地・施工後に湿気を帯びる可能性のある下地や、高温度・高湿度になる場所には施工しないでください。（剥がれや浮きの原因となります）
◎ 搬入時、現場内での運搬はリテクトがたわむため、2人以上で作業を行ってください。
◎ 5℃以下の環境では施工しないでください。（接着剤の硬化不良の恐れがあります）
◎ 接着剤、シリコーン、プライマーについては、製品安全データシート（MSDS）をご確認ください。

### ! 安全についてのご注意

下記の注意事項は、ケガや事故を事前に防止するためのものですので、必ずお守りください。

| 注意事項 | 想定される危険性 |
|---|---|
| ● **専用両面テープ・両面接着剤以外は使用しないでください。**<br>● タイル表面の汚れ及びタイルに浮きが無いことを確認してください。 | 剥がれによる落下の恐れ |
| ● 家庭用加熱調理機器とリテクト表面とは十分な距離を離してください。詳細については本紙4ページをご参照ください。<br>● 業務用加熱調理機器の場合は、家庭用に比べ熱量が極端に高く、近接する部位にはご使用できません。 | 表面変色の恐れ |
| ● 運搬・作業時には滑り止め手袋を着用するとともに、加工時に粉じんが発生するため、保護マスク・保護メガネを着用してください。尚、防じん丸のこを使用し、換気を良くして作業を行ってください。もし、粉じんが皮膚についたり、目・鼻・口に入った場合は、速やかに水で十分洗い流してください。また、異常を感じたら医師の手当てを受けてください。<br>● カット・加工した端部で手を切る可能性があるため、必ず端部をサンドペーパーで面取りをしてください。 | けがもしくは健康障害を生ずる恐れ |

## 施工の手順

1. 材料確認
2. 下地強度の確認
3. 下地処理
4. 割り付け
5. カット・加工
6. 専用両面テープ貼付けによる不陸調整
7. 専用接着剤塗布
8. 貼付け・圧着
9. シーリング
10. 保護フィルム剥がし

（8〜10）養生（2日間）

# 商品仕様

| 品名 | サイズ(㎜) | 梱包単位 |
|---|---|---|
| RETECT メラミン不燃化粧板 リテクト | 3×6(t3×935×1850)<br>3×8(t3×935×2450) | 1枚もしくは2枚/梱包 |

| | 品名 | サイズ・容量 | 梱包単位 |
|---|---|---|---|
| 専用接着剤 | SU－２５(シリル化ウレタン系):コニシ㈱製 | 333ml | 10本 |
| 専用両面テープ | TMテープW1<br>アクリル系粘着剤PEフォーム:コニシ㈱製 | 20㎜巾×10m巻 | 48巻 |
| 施工キット A 2枚用<br>(3×8 2枚施工分) | 【接着剤】SU-25(シリル化ウレタン系):コニシ㈱製 | 333ml | 2本 |
| | 【両面テープ】TMテープW1<br>アクリル系粘着材PEフォーム:コニシ㈱製 | 20㎜巾×10m巻 | 2巻 |
| 施工キット B 3枚用<br>(3×8 3枚施工分) | 【接着剤】SU-25(シリル化ウレタン系):コニシ㈱製 | 333ml | 3本 |
| | 【両面テープ】TMテープW1<br>アクリル系粘着材PEフォーム:コニシ㈱製 | 20㎜巾×10m巻 | 3巻 |
| シリコーンコーク | 防カビ剤入りシリコーンコーク:コニシ㈱製 | 330ml | 10本 |
| プライマー処理剤<br>(※推奨品) | ボンドシールプライマー＃25:コニシ㈱製 | — | — |
| アルミジョイナー | 平目地用 | 2.73m | 2本もしくは20本 |
| | 見切り用 | 2.73m | 2本もしくは20本 |
| | 出隅用 | 2.73m | 2本もしくは20本 |
| | 入隅用 | 2.73m | 2本もしくは20本 |
| ABSジョイナー | 平目地用 | 2.73m | 2本もしくは20本 |
| | 見切り用 | 2.73m | 2本もしくは20本 |
| | 出隅用 | 2.73m | 2本もしくは20本 |

# 施工工具

加工に関する道具は下記をお使いください。但し、ハマカケが起こらないように刃物は新しいものをお選びください。

**① 切 断 加 工**　電動丸のこ(チップソー・ダイヤモンドソー)

施工時における切断用刃物について

○刃物には**「外径」「刃厚」「刃数」**の規格があります。

○**「外径」「刃厚」**はお手元のハンディソーに合ったものをご使用ください。

○**「刃数」**はできるだけ多いものをご使用ください。

例)チップソー「刃数」: φ100の場合P100、φ125の場合P80

**②穴あけ加工**　ドリル、ホールソー、ルーター、トリマー

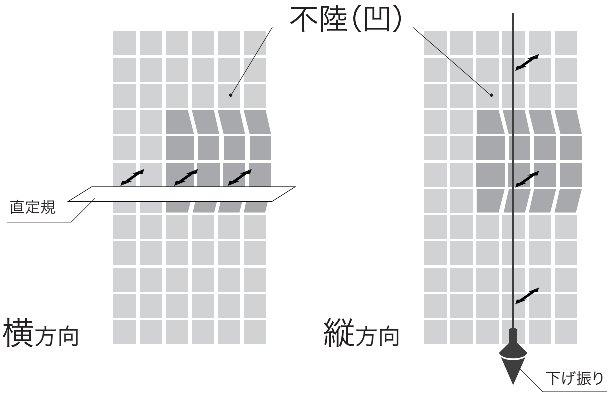
**③ 仕 上 げ**　サンドペーパー、ヤスリ、デコラカンナ

# 施工前の確認

## 1　下地の確認　重要

**まずはリテクトの施工が可能かどうか確認ください。**

### 下地の状態のチェック




### ①タイル表面が汚れている場合

**対処法　清掃**

タイル表面の汚れを充分に
除去してください。

### ②タイル表面の不陸の有無

○ 右図のように直定規・下げ振り・レーザーレベル等を用いて壁面の水平・垂直の不陸を測定してください。

※ 現下地で施工可能な**最大不陸は5㎜**です。
５㎜を超える場合は、下地を作製してください。

※ タイル表面の不陸調整はテープの貼り増しで行ってください。
タイル表面にはプライマー等は塗布しないでください

**対処法　下地作製**

下地作製にあたり下地材は6㎜以上のケイカル板（比重0.8以上）や9㎜以上のラワン合板をお薦めします。
ケイカル板や合板は必ず躯体へビス固定してください。

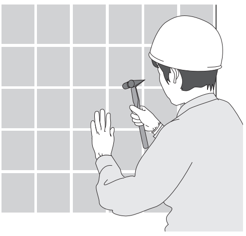
**! ご注意**

※下地の作製にあたっては、建築基準法、火災予防条例での法令・法規に従って作成してください。

**その他、下地についての詳細は別途お問い合わせください。**

### ③表面タイルの浮きの有無

◎ 古いタイル壁面では浮き・剥がれの危険が高いため、右図のように打診検査（テストハンマーなどでタイル表面を叩きタイルの異常音を音で判断）でタイルの浮きを調べてください。
浮いたり剥がれたタイルは下記の方法で補修することが必要です。



**対処法　モルタルの充填又は全面打設**

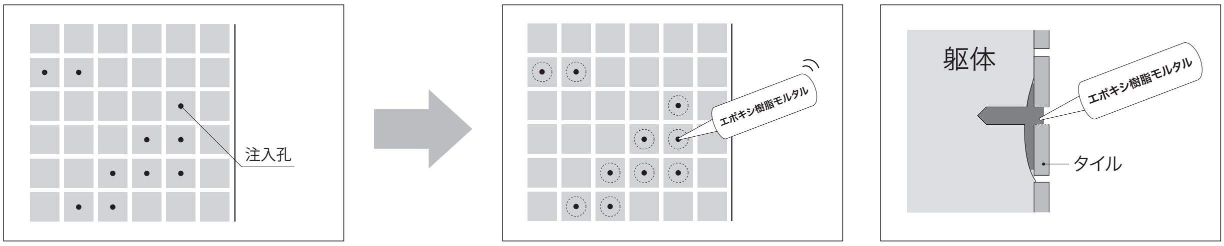
比較的小規模なタイル剥離から全面タイルはつりの補修まで巾広い対応が可能です。躯体（コンクリート・ブロック）とモルタルとの密着が悪いと剥離の原因になりますので注意してください。
（含水率4.5%以下、接着強度1.0N/㎟以上、平滑な金ゴテ仕上げ、不陸2㎜以下）

**対処法　エポキシ樹脂モルタルの充填**

比較的小規模なタイル剥離については剥離部分に充填補修用のエポキシ樹脂モルタルを充填してください。

**対処法　ピンニングによる樹脂注入固定**

下図のようにエポキシ樹脂等を浮きのあるタイル部分に注入して、浮き部分の剥離・剥落を防止します。




コンクリートドリルにて浮きのあるタイルの中央に1箇所、躯体に達するように穴をあけます。穴の内側を十分に清掃してください。

エポキシ樹脂モルタルをグリスガンにて穴の最深部より充填していきタイル表面と同じレベルになるまで充填します。樹脂が固まった後、再度打診検査を行い充填状況を確認します。

注入量＝25～30ｇ/1穴

# 2　貼付け壁の確認

**キッチン部壁面の下地構造は法令に従い、施工してください。またリテクト表面への極度な熱伝導を防ぐため、次のことが守られていることを確認してください。**

## ビルトインタイプコンロの場合

○ コンロの側面からリテクトの表面まで15㎝以上離してください。15㎝以上離せない場合、コンロの熱により変色やコゲが発生する場合がありますので防熱板を使用してください。（変色やコゲが発生しても不燃性能には影響ありません。）

○ グリルの排気口が背面側に設置しているタイプのクックトップについてはグリル排気で壁面が高温になり、変色やコゲが生じる場合があります。奥行き６５㎝未満のカウンターで使用する場合は防熱板を使用してください。

○ 奥行き65㎝以上のカウンターで使用する場合もコンロやグリルダクトと壁面が近接する位置に設置するなど、壁面が高温になる懸念がある場合は防熱板を使用してください。

## 据え置きタイプコンロの場合

○据え置きタイプのコンロで壁面とコンロの距離が15㎝以上離せない場合（側面、背面）は防熱板を使用してください。防熱板を設置する際、防熱板メーカーの施工説明書に従って壁面との距離を必ず取ってください。

※以上の条件を満たしても直接炎がリテクトに当たらないようにご注意ください。

※**コンロの周囲の壁面構造は各自治体の火災予防条例などにより規制されます。規制に従った構造を作成してください。**

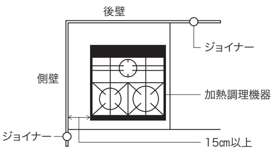
※4600kcal以上の業務用コンロに近接する部位には使用しないでください。

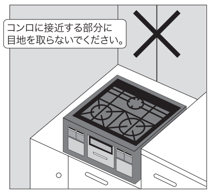
※加熱された鍋類が直接リテクトに触れる事が無いようにしてください。

### ジョイナー使用上のご注意

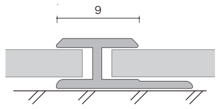
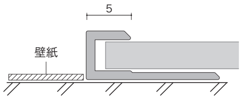
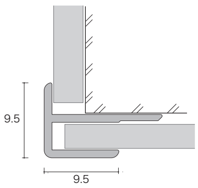
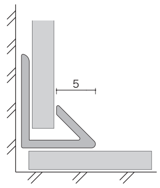
**コンロ廻りのご注意**

コンロに接近する部位に目地を取らないでください。



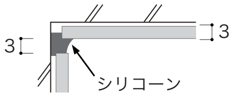
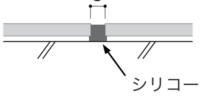
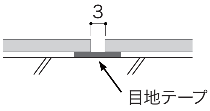

# 3　納まりの確認

| ①ジョイナー部納まり | | | |
|---|---|---|---|
| 平目地 | 見切り部 | 出隅 | 入隅 |
|   |   |   |   |

**ご注意**

※ジョイナー納まりの場合は、リテクトに差し込んでから施工してください。また、ジョイナーは接着剤等を用いて、しっかりと固定してください。

※水廻りにて施工する場合、必ずジョイナーの中にシリコーンを注入して施工してください。

| ②シーリング部納まり | | ③目透かし部納まり |
|---|---|---|
| 入隅部 | 平目地部 | 目透かし |
|   |   |   |

**ご注意**

※リテクトを**突き付け施工しないでください。**高湿度下でリテクトが伸び、突き上げを生じたり、低湿度下で収縮して、すき間を生じたりする場合があります。

# 施工方法

## 1　割り付け・下地処理

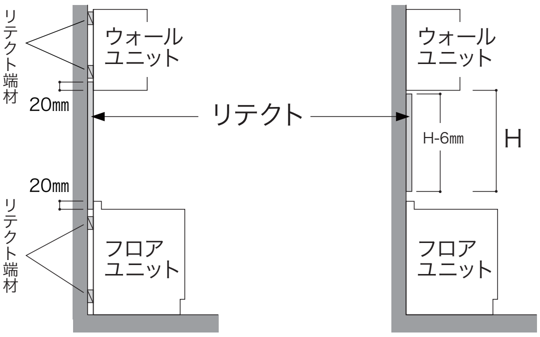
**下記の注意事項を遵守して割り付け・下地処理を行ってください。**

### 割り付け時の注意点

○下地材の目地とリテクトの目地が重ならないように割り付けしてください。
○リテクトで突き付け施工はできません。シリコーン・目透かしで施工される場合、必ず3㎜以上の目地を取ってください。ジョイナーで施工される場合も、かならずクリアランスを取ってください。
○開口部の位置及び外観を考慮して、端材が少なくなるように割り付けてください。

### キッチンで使用する場合

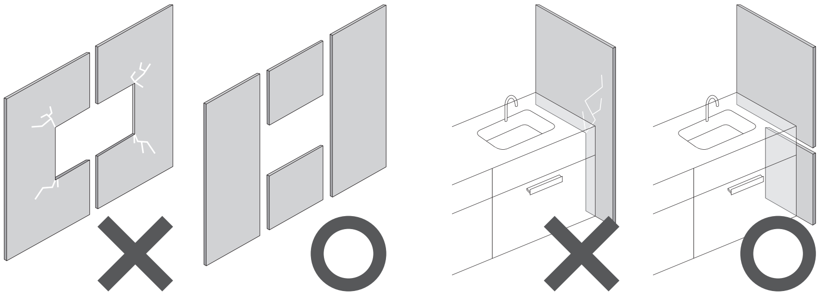
**パネル先付け納まり**　　**パネル後付け納まり**




○ パネル先付け納まりの場合、吊り棚・天板へ20㎜呑み込ませて割り付けてください。
また、パネル後付け納まりの場合、吊り棚・天板とのチリ3㎜を取って割り付けてください。

○ 左右の割り付けはチリ3㎜を取ってください。

### 切り欠き部がある場合



○ 上図のような**切り欠き部**が大きい場合、クラック発生の恐れがあります。
（上図のような場合、切り欠きではなく、複数枚を使用する割り付けとしてください。）

### タイルの上にモルタル面・ケイカル板・ラワン合板で下地を作る場合

リテクトを貼付ける部分の全面に予めプライマーを塗布してください。

**ご注意**

※推奨プライマー以外のプライマーを使用する場合、取扱い説明書をよくお読みの上、ご使用ください。
※プライマーは薄めずに、そのままご使用ください。
※プライマー塗布後、**2時間から7日以内**にリテクトを貼付けてください。ご使用の際には十分に換気を行ってください。

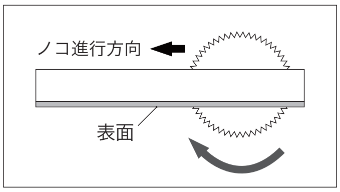
## 2　カット・加工

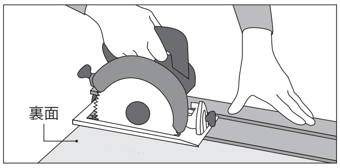
**下記の注意事項を遵守してカット・穴あけ・切り欠きを行ってください。**

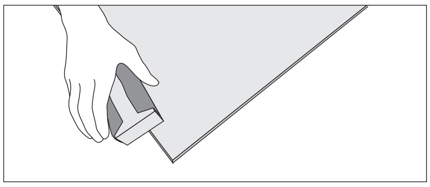
### カットする時の注意点

○ 切断は当木を用いて、必ず刃物を**表面**から入れて裏面から出るようにしてください。
（表面には保護フィルムが貼ってあります）

○ 保護フィルムが付いていますが、取り扱いには充分ご注意ください。



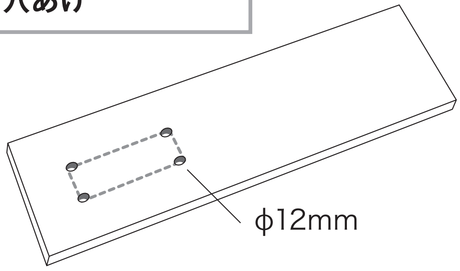
### 面取り方法

カット面はサンドペーパーを当木にそえて**面取り**してください。

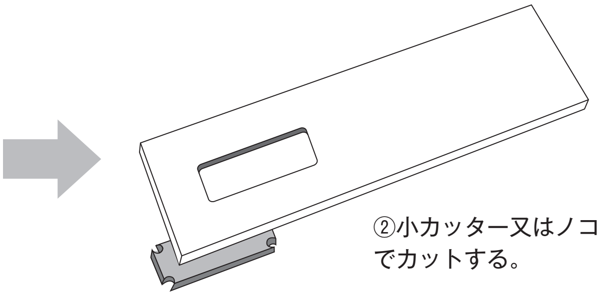
### ❗ 穴あけ・切り欠きの注意点

○ 穴あけ・切り欠きは必ず**12φ以上**の刃物を用いて、**表面**からコーナー部に穴をあけてから行ってください。
○カット後のバリ・カケは、**クラックの原因**となる場合があります。**カット面をサンドペーパーで平滑にしてください。**

**コンセントなどの穴あけ**



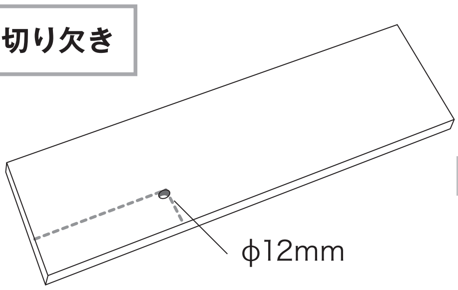

①ドリルで四隅に穴をあける。



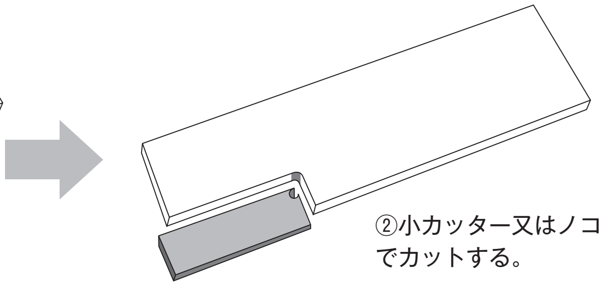
②小カッター又はノコでカットする。

③カット面を**面取り**

**切り欠き**




①ドリルで角に穴をあける。

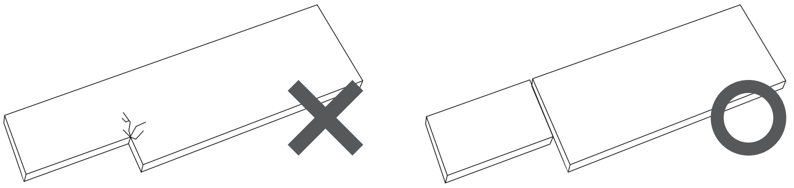


②小カッター又はノコでカットする。

③カット面を**面取り**

## ⓘ ご注意

○右図のように**ピン角でカット**した場合、クラック発生の恐れがあります。切り欠きではなく複数枚で使用する割り付けとしてください。

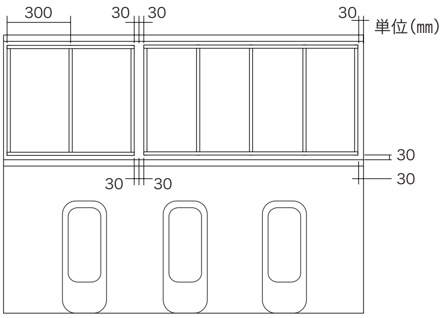


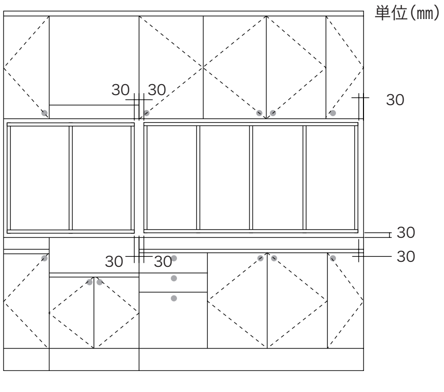
# 3 両面テープ貼付けによる不陸調整・接着剤塗布

**下記の注意事項を遵守して、両面テープ貼付・接着剤塗布を行ってください。**

### ❗ 両面テープ貼付けの注意点

○貼付けタイル面の端部に接着剤を塗布するための**スペース30㎜**をあけて、両面テープを貼付けてください。
○貼付け面の中央部は両面テープが約300㎜ピッチになるようにしてください。
○不陸の調整は3㎜厚の両面テープを重ねてください。



## ❗接着剤塗布の注意点

○接着剤は**両面テープの厚さより、3㎜以上高く**なるように塗布してください。
（両面テープを重ね貼りした場合、両面テープの厚さより高く接着剤を塗布してください。）

○貼付けタイル面の外周には必ず接着剤を塗布してください。
（外周塗布がない場合や、塗布量が少ない場合には、端部の浮きが発生することがあります。）

○切り欠き部分の周囲や器具等を取り付ける部分には必ず接着剤を塗布してください。塗布量が少ない場合、クラックが発生しやすくなります。

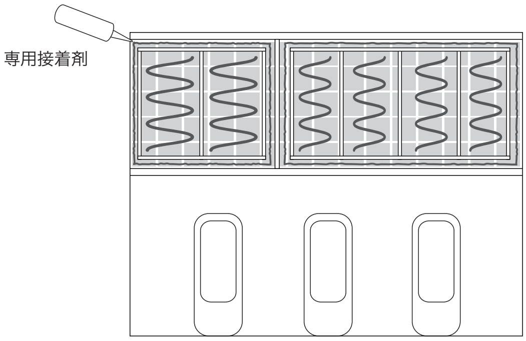
○貼付けタイル面3×8サイズの面積に対して、専用接着剤2本が目安の塗布量です。塗布量が少ない場合、剥がれなどの原因となります。

○接着剤塗布後10分以内に貼付け圧着してください。

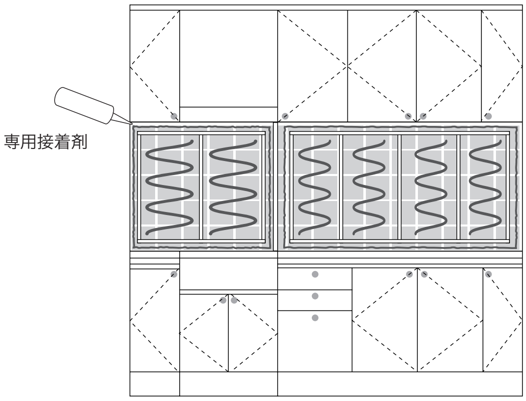
○気温は5℃以上で施工を行ってください。

○不陸が5mm以上の場合は施工できません。

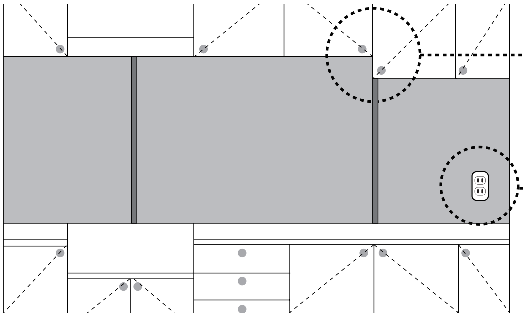
※タイルの上にモルタル面・ケイカル板・ラワン合板で下地を作る場合は、一般下地用の施工説明書に従ってください。

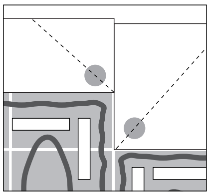



※端部は必ず直線で塗布、内部は必ず波線で塗布

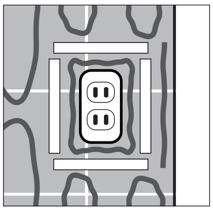



## コーナー部分等の塗布パターン





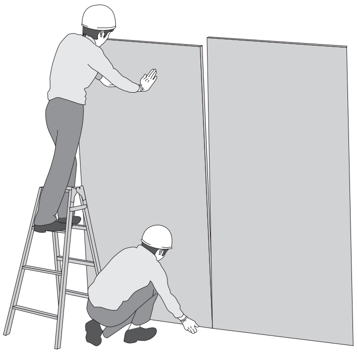
切り欠き部



コンセント部

# 4 貼付け・圧着

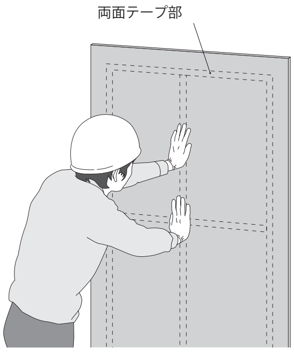
**下記の注意事項を遵守して貼付け・圧着を行ってください。**



### ❗貼付け時の注意点

○リテクトを貼付ける際に、中央部に**浮き**が発生しないように注意してください。

※ 両面テープが壁面に一度接着すると、調整ができなくなります。



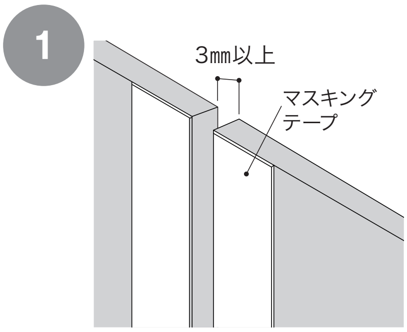

### ❗圧着する時の注意点

○**両面テープ部をしっかりと押さえてください。**

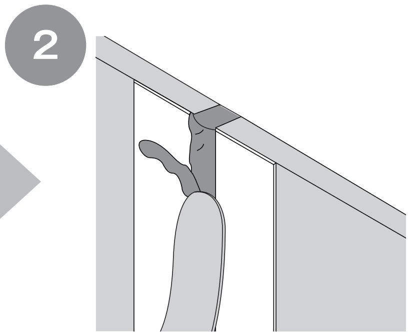
※ 接着剤部を押さえると泣き別れの恐れがありますのでご注意ください。

# 5　シーリング

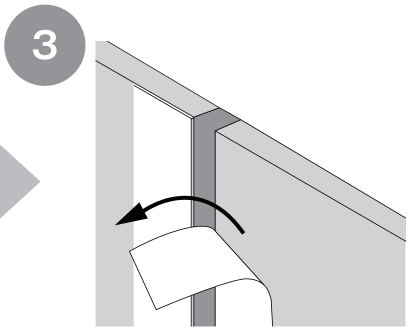
**下記の手順に従ってシーリングを行ってください。（シリコーン納まりの場合）**




マスキングテープを貼り付け、奥までしっかりとシリコーンを注入する。




ヘラなどを用いて、余分なシリコーンをかき取る。




マスキングテープをゆっくりと内側に剥がす。

# 6　養生フィルム剥がし

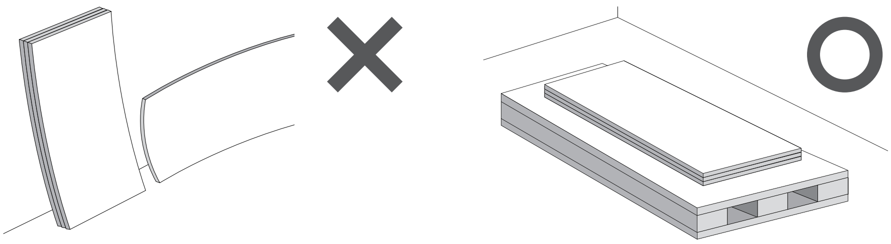
**２日間以上養生後、表面の保護フィルムを剥がしてください。**

## 在庫・保管に関して

**! ご注意**

○在庫保管は直射日光や雨の当たる場所を避け、風通しの良い屋内に保管してください。

○地面への直置きは避け、平らな場所でパレットなどの上に平積みしてください。壁などに立てかけると、反りの原因になりますので、絶対におやめください。



## その他の注意事項

平成12年施行の改正建築基準法により、不燃認定ラベルの貼付け義務がなくなりました。

製造・販売

イビデン建装株式会社

本社　〒503-8503　岐阜県大垣市青柳町300　TEL.0584-89-0552 FAX.0584-88-2722
http://www.ibidenkenso.jp　E-mail:info@ibidenkenso.jp

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 東部営業部 | 〒108-0073 | 東京都港区三田3-14-10　明治安田生命三田ビル5F | TEL.03-3452-2538 | FAX.03-5765-5053 |
| 西部営業部 | 〒532-0003 | 大阪市淀川区宮原1-2-6　新大阪橋本ビル3F | TEL.06-6399-1674 | FAX.06-6399-1680 |
| 仙台出張所 | 〒984-0015 | 宮城県仙台市若林区卸町5-7 | TEL.022-238-7004 | FAX.022-284-6911 |
| 中部営業所 | 〒503-8503 | 岐阜県大垣市青柳町300 | TEL.0584-89-0609 | FAX.0584-89-0608 |
| 九州営業所 | 〒812-0068 | 福岡県福岡市東区社領3-14-27 | TEL.092-611-3413 | FAX.092-611-3417 |